

### 平成30年度北馬城まちづくりの思い 『まちづくり』何か日本一を目指し挑戦する年度に

北馬城地区まちづくり協議会会長 後藤 文利

北馬城地区まちづくり協議会は平成30年度が3年目の取組みになります。

昨年度は、北馬城地区まちづくり協議会のスローガン

「まちづくり 皆でめざそう輝く 北馬城」

の下で、地域コミュニティを図りながら、北馬城の地域資源を生かした住み良いまちづくりに取り組んできました。特に取り組み活動に当たってはマンネリ化防止に絶えず心魂を傾け、協議会の役員、専門部会長が知恵を出し、数多くの新施策を実施しました。

その二～三の概要を紹介いたします。

先ず、ハードのまちづくりとしては、北馬城の資源の目玉であります【JR 宇佐駅】の活性化、利便性の向上であります。昨年7月21日宇佐市長をトップに地元市議会議員3人と協議会会長の私がJR九州大分支社へ出向き、宇佐駅のエレベータ設置等の陳情を行い、地元の声を訴えました。

また、北馬城地区振興の最たるものとして、宇佐市へ要望していた「道の駅新設」が是永宇佐市長、市議会のご理解の下に、「宇佐市「国道沿線地域複合施設」基本構想」が出来上がり計画予定地も選定されました。

私たち地元地域住民はふるさとの活性化を目指しています。その意気込みの下で今後とも理解と協力を惜しまず発揮できるように努め、一年でも早く道の駅が開設できることを関係者へ働き掛け、協力を求めています。

人を中心にしたソフトのまちづくり事業については、日本一小さな「軽トラ市」を宇佐駅前で開催しました。軽トラ5台を並べ、そこに地区内住民が作った野菜を中心に販売、3時間の出店で27.5万円の売り上げと、人が宇佐駅に集まり、駅の賑わいを短時間でありましたが取り戻し北馬城のまちづくりの一端の道筋が見えました。

また、地元北馬城で活躍している企業経営者16人に出席していただき、「北馬城地区企業経営者会議」を開催し、北馬城の地域活性化の現状と将来展望に向けて話し合い、認識を共有し、方向を定めました。

次に、平成30年度事業計画の目玉として取り上げた施策の一つを紹介します。

30年度の事業計画を検討する役員会議で提案され、採択したものであります。

毎年、大なり小なり同じ施策を繰り返しても、まちづくりのインパクトは大きく高まらず、前向きに繋がりません。それで脱マンネリ化の意味を含め、「北馬城でなければできない日本一となるものをみんなで歩きながら考え、創造し挑戦する」施策に取り組めます。そのために、アイデアを出し、行動する集団として専門部会に「ハッピーアイデアチャレンジ部会」を創設して所期の成果をあげることにしました。

まちづくりのキーワードは「共感」であります。地域住民に共感を覚えるように工夫し、「住んで楽しく、誇れる北馬城づくり」に取り組めます。皆様のご理解とご協力をお願いします。

## 北馬城地区まちづくり協議会平成30年度から5部会に

平成30年5月20日(日)、北馬城小学校多目的ホールにおいて、平成30年度北馬城地区まちづくり協議会総会を開催しました。出席者は66名で総会規定を超え、総会が成立し、末廣一夫氏が議長に選任され、全議案が滞りなく進行し、承認されました。

平成30年度の新しい取り組みはハッピーアイデアチャレンジ部会を創設し、5専門部会でスタートすることとなりました。部会長には矢口孝芳氏が就任し、何か北馬城でなければできない日本一のまちづくりを目指し、活動を活性化する役割を担うこととなります。同じ施策を繰り返し実施してもまちづくりの機運は高まらず、前向きに繋がらないので、脱マンネリ化の意味を込め、みんなで歩きながら考え創造し挑戦していきます。また、空席になった高齢者福祉部会長には中尾久朝氏が就任することとなりました。

さらに、規約(旅費規程第3条)の改正があり、役員が会長の指示により会議に参加する場合は交通費・日当が支給されることになりました。(市または県主催の会議、視察研修に参加、などに支給されます)



会長挨拶



市長祝辞



末宗県議祝辞



和氣市議祝辞



議事風景



議事風景

## 総会特別基調講演(ポールさん(英))の「田舎を資源にする」に参加者全員が共感賛同

5月20日(日)総会終了後、英国出身で国東半島在住(杵築市大田俣水)のクリスティーポールジュラード氏を招いて特別基調講演を行いました。演題は「田舎の資源を生かしたインバウンド観光」(海外からくる外国人)と題して、なぜ大田俣水に本社を置いて、東京に支店を置いているか、観光コースとしてどういうところに気配りしているか、それは日本人の礼儀正しさやもてなしの気持ちが外国人に好感を持たれている点にあると。大田俣水の本社は古民家を改修したもので現在従業員は8名、来年新規に3名採用とのことです。また、草ぼうぼうとなった安岐ダム周辺草刈りを地域の人が変わって行っているとの事。北馬城にも欲しい人材ですね!! 田舎を誇りに北馬城のいい所を!!



講師のポールさん